

STEP BY STEP

怒りをコントロールすることは人生において、かなり重要なことらしいです。すぐに怒りを爆発させず、ちょっと深呼吸して冷静さを取り戻し、どのように反論するか考える、というようなことを勧める書籍も本屋に多数並んでいます。人間関係で悩みを抱えている人が多いことの証だと思います。しかし、どうにもこうにも腹の虫が治まらない、ということは多々あります。

10月中旬、東京拘置所に行ってきました。面会したのは、この中で無実を叫んでいるFさん。弁護士のHは控訴審の後、「最高裁どうします？」と相談にきて、Fさんが「最高裁もお願いします」と返答。H弁護士にとっては商談成立、というくらいの認識だったのでしょう。10分くらいでさっさと帰ったそうです。そしてご両親にLINEで弁護士費用を請求。ご両親は息子を助けたい一心で早急に振り込みを済ませました。ところが、Hはその後、2ヶ月も面会に来ていませんでした。

そんなご両親から相談を受けて、お会いしたところ、この弁護士からは1枚の裁判資料も見せてもらっていない。いちばん最初に弁護士事務所書類にサインをして着金を支払った時以外は、常にLINEで請求が来るらしい。請求書も領収書もなし。ご両親は、刑事弁護はそういうものなんだ、と思っていたらしい。更にこの弁護士は弁護士事務所から離れて他所に移るとLINEで伝えてきたきり、11月に入ってから数日間は所在不明、音信不通。ご両親は何が何だか分からない。Fさんは不安の極致にいました。

話には聞いていましたが、こういう悪徳弁護士がいるんですね。冤罪者を食物にしている。許せん！！というわけで、Fさんのお母様とHが在籍していた法律事務所に行ってきました。ビルの上部のスペースに、いくつものミーティングルームがあり、そこを使えるように申し込んでいる複数の企業が、必要なときに部屋を押えている、単なるシェア・スペースです。どこにも法律事務所の文字はありません。恐らくどこかのおんぼろアパートに最低限の拠点はあろうと思います。なければ困るはずですよ。

私はこの日、ラフな格好ではなく、ジャケットを着て、ネクタイを締めていきましたが、出てきた弁護士は、ジャケットに丸首のセーター、細身のジーンズにスニーカーという、学生みtainな服装で、まっとうな弁護士の雰囲気では全くありませんでした。何でもかんでもLINEで送ってくる理由も分かりました。要するに事務所を構えていないので、封筒もプリンターも事務用品置き場もないのです。そのために全部デジタルでやり取りしたがるのでしょう。

お母様と私は、これまでのH弁護士の対応のまずさや問題点を列記して、「人として不親切、非常識、信用しろという方が無理である」と追及しました。3時間近く話したと思います。最後にお母様が「弁護士会にも行こうと思っている」と告げました。この報告を聞いたHからすぐに「謝罪と説明をしたい」という連絡があったそうです。この原稿を書いている時点では、誠意のある対応と説明があるのか分かりません。どのような弁護士に出会うか、人生の分かれ道です。いきなり冤罪に巻き込まれたら、ご家族は当然、右往左往します。そんな時に相談できる相手がいるかどうか、これも重大な局面です。こんなところにも冤罪犠牲者の会のやるべき仕事があるなと思った次第です。（なつし聡）



東京拘置所。手前の団地が小さく見えてしまう。

「遺体は誰？事件」第三次再審請求の報告

かつて「田園調布資産家殺人事件」として報道されていた私の事件は、支援グループの話し合いで、今回から「遺体は誰？事件」と称することになりました。捜査機関が作り上げたフィクションで、現実に存在しない事件を名乗るよりも、再審請求の争点そのものだし、実態に即した訴求力のある事件名にしようという目論見です。

私の取り調べに当たった白石刑事から、こんな難しい事件を手掛けた理由を聞いたことがあります

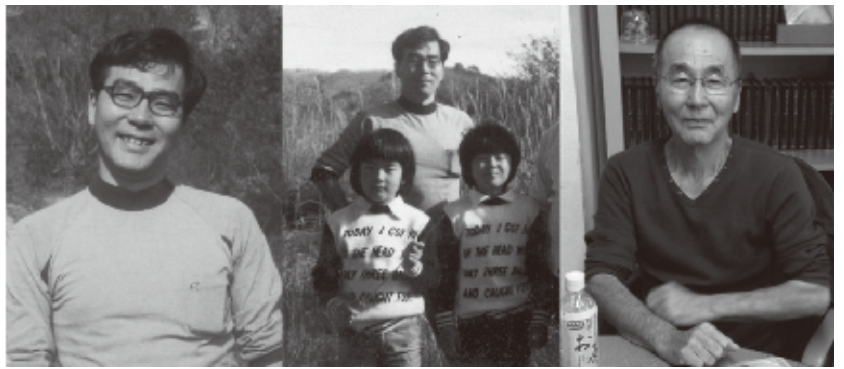
ます。彼はこんな風に言っていました。
「この事件の舞台が田園調布という東京の一等地だったということ。白い洋館と孤独な資産家の取り合わせがよかった。これが荒川のほとりのアパートで年金暮らしの婆さんが失踪したというんでは、マスコミの受けが違う」

大きな事件ほど、捜査員も裁判関係者も奮い立つ。というわけで、あざと

く市民受けを狙って、事件が派手にでっち上げられたというわけです。これに巻き込まれて、存在しない事件の犯人にされてしまったのです。「遺体は誰？事件」なら単なる名称・記号ではなくて、事件の内容に踏み込んで、冤罪として皆が記憶してくれそうです。

「遺体は誰？事件」の第三次再審請求書が出来上がりました。12月14日に裁判所提出と記者会見が予定されています。弁護団が、事件内容を本当によく理解していて、僕の言いたいことも余すところなく論述してくれました。裁判官もきちんと読んでくれたなら、事件はすべて虚構であると判断するしかありえないと確信します。

今年は、この事件をでっちあげた張本人の町田幸雄元主任検事が亡くなりました。これで永久に事件の全体像が分からなくなったと思うのがっかりです。これ以外にも一審の松原弁護士をはじめ、事件関係者が高齢で次々に亡くなっています。時間との闘いでもあります。応援よろしくお願いします。（折山敏夫）



若き日の折山敏夫さんと近影

交通事故冤罪をなくすために

23年前、バイクと乗用車が阿蘇付近観光施設にある交差点前で衝突し、青年が死亡しました。警察はバイクの追突事故としましたが、10年間の裁判を通して真相解明を行い、地元有力者の娘による巻き込み事故であることがわかりました。

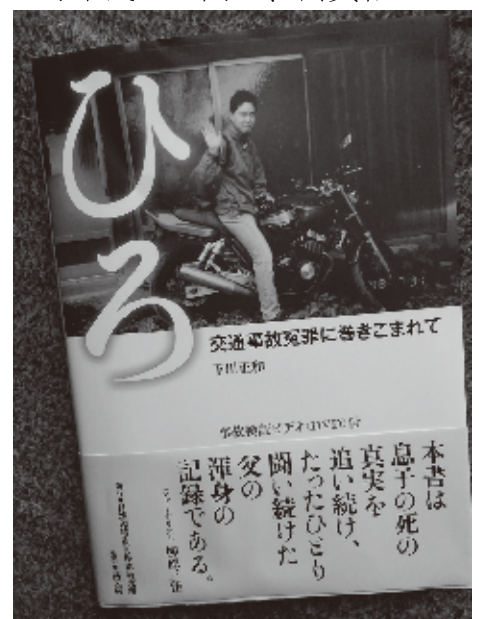
警察が事故直後の証拠写真を隠し、車両にあった痕跡を見えないように工作し、居もしない目撃者を作り出して、実況見分調書を捏造し、決めつけの捜査報告書を書き上げ、挙句の果ては科捜研に、化かすための科捜研鑑定書を書かせました。検事は専ら警察の捏造を支え、判事は警察や検事の作成した捜査資料だけを証拠採用し、本質をついた鑑定書や科学的に真相を追った意見書は生かしません。

違法捜査・事件の捏造、検事・判事の不作為や歪曲を見逃しては、安全な社会生活は成り立ちません。被害者浩央（ひろなか）の名前を取って「ひろの会」を立ち上げ、交通事故解明の例と捜査～訴訟～鑑定～判決に至る捏造形成過程を広く市民に公開し、会員相互で鑑定や裁判に立ち向かい、ノウハウを深化し資産化するサイト・ホームページを立ち上げました。この冤罪の詳細は高文研で出版発売した「ひろ」で説明しておりAmazonか出版社にお問い合わせ下さい。ホームページは下記のとおりです。アクセス下さい。

ひろの会ホームページ <http://hironokai.org/>

今年から、会員と理解いただいている準会員で、MLを囲んで、1. 検事・判事が冤罪を認めてしまう根拠を摘出し、2. 検事・判事・鑑定が冤罪加担をしないために提案し、3. 市民や社会の目で冤罪を監視・摘出するための仕掛けやチェックポイントをまとめようとしております。一緒に立ち向かいませんか？

MLへの参加希望者は、mashimok1425@gmail.comへ。ご招待申し上げます。（ひろの会代表理事/下川正和）



■冤罪当事者による交流会のお知らせ

冤罪犠牲者の会では小規模ながら、冤罪当事者同士が集う交流会を開催しています。冤罪に巻き込まれてしまったために、仕事も友人も失ってしまったという方が少なからずいらっしゃいます。冤罪を晴らすためにはどうしたらいいんだろう。再審は？ 弁護士との付き合い方は？ 支援者をどうやって集めるの？ いろいろな疑問が降っては沸いて、降っては沸いて、プレッシャーに押しつぶされそうになります。他の冤罪当事者たちはどうしているんだろう。そんな疑問を抱えた人たちが集まって、情報交換をしたり意見交換をします。同じ経験をしている仲間がいるということは心強いものです。現在は事務局のある東京で開催していますが、今後は関西圏でも開催していこうと考えています。

また、この交流会は家族の方も大歓迎です。息子、兄弟が冤罪と闘っている。拘置所・刑務所で無実を叫んでいる。世間から身を隠すように、ひっそりと暮らしていくことを選択する方もいらっしゃいます。ここでもやはり情報交換が大切です。そして、何より、同じ立場の仲間がいるということが、けしてひとりではないんだ、という安心感を運んでくれます。

交流会に参加してみたいという方、是非、ご連絡ください。参加費無料、遠慮不要、心配無用です。

e-mail : info@enzai.org 皆様のご参加をお待ちしています。(事務局)

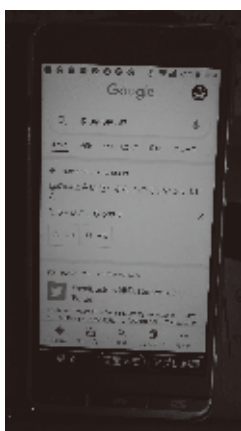
■引き続きYouTubeの観方

冤罪犠牲者の会のYouTubeチャンネルにはたくさんの動画が公開されています。「そのイベント気になっていたんですけど、はるばる行けませんでした」「YouTubeでも観れますよ!」「YouTubeは観たことないんですわ」「スマホはお持ちですか?」「もちろんです!」

というわけで、スマホで冤罪犠牲者の会のYouTubeチャンネルをどうやって観るか、図解入りで解説します。本当に簡単なのですよ!



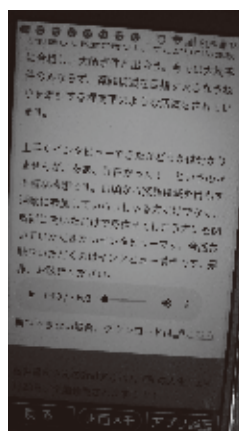
検索窓に「塀の中の白い花」と入力



番組名をタップ



聴きたい回の記事をタップ



▶のPLAYボタンをタップ

■冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』の聴き方

日本で唯一の冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』はFMたちかわから第1・3・5月曜日23時半に放送中。放送終了後のポッドキャストの聴き方をご紹介します。http://enzaibusters.seesaa.net/



1. スマホの画面にあるYouTubeの赤いマークをタップ。



2. 画面上の虫メガネのマークをタップ。

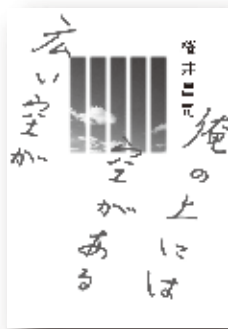


3. 出てきた窓枠に「冤罪犠牲者の会」と入力。

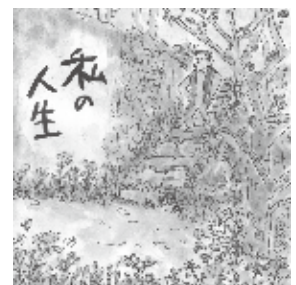
4. 冤罪犠牲者の会の文字をタップ。当会の動画が並びます。観たい動画のPLAYボタン▶をタップ。

■今月もオススメ

絶望しながらも人の優しさに触れ、人を想う心を知った。20歳で始まった冤罪との闘い。43年7月に及んだ年月は無駄な時間ではなかった。桜井昌司さんの生きた証。
1400円（税別）マガジンハウス



冤罪と闘い続けた桜井さんの国賠も完全勝利。春の訪れを満喫できる時間がやっときたのかな。そんなことを連想させる、野に咲く花のようなミニアルバムです。



1000円（税別）ユミノ音泉村

＝冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！＝

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが2019年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、160名を超えました。冤罪に巻き込まれてしまい、闘っている人、再審を目指している人、無罪を勝ち取った人が約50名、獄中で無実を叫んでいる人が約10名、近親者・支援者が約100名で構成されています。冤罪撲滅に力を貸してくださる方を募集中です。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

■ちょっと一言

冤罪撲滅を目指す仲間を増やそうとして、あちこちで話をします。冤罪と聞いただけで、壁を作ってしまう方、せっかく今日一日楽しく生きてきたのに、そんな酷い話するなよ、と拒絶反応を示す方が多いことに驚かされます。最近は「冤罪」とストレートに言うより、誰にも共通する「人権」というキーワードを使う方が良いのかな、と感じています。

「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支店 ○一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ



■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」から「入会のお申込み」ページにある会費支払方法をご参照ください。

◎冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおりません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。お急ぎの場合は080-5182-3911（冤罪犠牲者事務局長：なつし聡）へお電話ください。個人の電話番号ですので、この点はご了承ください。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail : info@enzai.org

発行責任者 なつし聡